

カナイグループの SDGs への取り組み



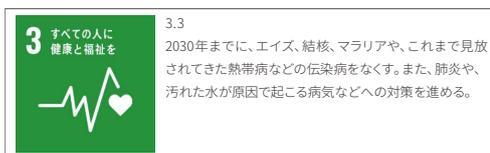
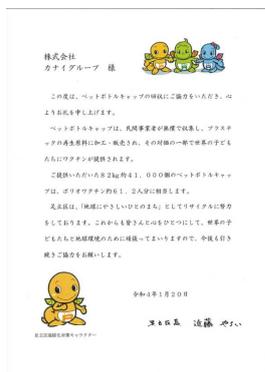
未来のために、今私たちができること。

カナイグループはSDGsの理念に賛同し、全グループ会社をもって目標達成に向けて取り組んでいます。

SDGsは2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。

エコキャップ運動

株式会社カナイは、カナイグループを通して2019年から環境活動の一環としてエコキャップ運動を行っています。エコキャップ運動に参加し、ペットボトルのキャップを回収することで、地球温暖化を抑制するとともに、世界中の子供たちのワクチン接種に寄与しています。



3.3

2030年までに、エイズ、結核、マラリアや、これまで見放されてきた熱帯病などの伝染病をなくす。また、肺炎や、汚れた水が原因で起こる病気などへの対策を進める。

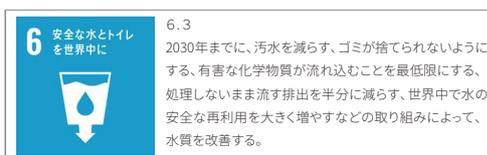
◀ 左：キャップ回収ボックス
右：足立区からのお礼状

エコキャップ回収実績

年度	回収量	回収個数	ポリオワクチン数	CO2の削減効果
2019年	24.0 kg	10,320 個	17.9 人分	75 kg-CO2
2020年	65.5 kg	32,750 個	48.9 人分	258 kg-CO2
2021年	82.0 kg	41,000 個	61.2 人分	300 kg-CO2

水質改善に向けた取り組み

環境に配慮したノンクロム防錆処理であるデュラルコートを多くの金物に使用しています。防錆処理のクロメート処理は主材料とされている六価クロムが、極めて強い毒性や発ガン性をもつ物質です。廃棄する際に適切な処理がされていないと土壤汚染や水質汚染の原因に繋がります。また、RoHS指令やELV指令といった欧州規制では環境負荷物質に指定されています。カナイグループでは六価クロムの使用量を削減することで汚水の排出を減らし、水質の向上に努めています。



6.3

2030年までに、汚水を減らす、ゴミが捨てられないようにする、有害な化学物質が流れ込むことを最低限にする、処理しないまま流す排出を半分に減らす、世界中で水の安全な再利用を大きく増やすなどの取り組みによって、水質を改善する。

福祉施設との業務提携

「座金」をはじめとするオリジナル金物製造拠点の1つに社会福祉法人「埼玉のぞみの園」があります。25年前に同法人「春日園」へ座金のカシメ作業の依頼から始まった業務提携は、今では「第2春日園」、「深谷たんぼぼ」、「妻沼つくし作業所」そして「春陽の里」へと広がっています。これからも社会的自立を目指す障害がある方たちの就労支援に貢献できるよう、努めていきます。



8 働きがいも
経済成長も



8.5

2030年までに、若い人たちや障害がある人たち、男性も女性も、働きがいのある人間らしい仕事をできるようにする。そして、同じ仕事に対しては、同じだけの給料が支払われるようにする。

◀ 左：座金製造風景
右：パレット作成風景

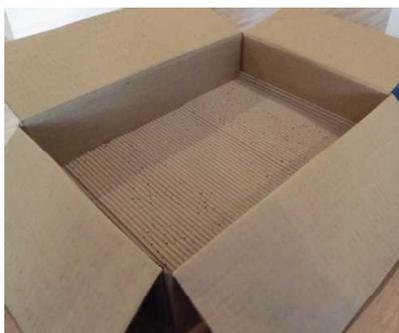
梱包資材の省資源化

釘の梱包時に緩衝材として使用しているトレーの削減に、2019年から取り組んでいます。資源を有効に利用することで環境への負荷を減らし、自然環境の保全に貢献します。

トレー仕様



トレーレス仕様



トレーを使用していない製品には、独自のマーク「TRAYLESS(トレーレス)」をダンボールに表示しています。

※トレーレスマークは該当製品のダンボールに順次表示します。

こちらのパッケージは
梱包材の削減に
配慮された製品です

トレー削減実績

年度	削減量	削減枚数	CO2の削減効果
2019年	27,595 kg	289,940 個	72,618 kg-CO2
2020年	96,257 kg	1,019,527 個	253,307 kg-CO2
2021年	104,649 kg	1,105,950 個	275,392 kg-CO2

12 つくる責任
つかう責任



12.5

2030年までに、ごみが出ることを防いだり、減らしたり、リサイクル・リユースをして、ごみの発生する量を大きく減らす。